

2024年10月

金沢大学
小早川 凜奈

Cebu English Language Learning Academy (CELLA)報告

【目的】

英語のスピーキング能力を高めるために、話すことを中心とした授業を受ける。マンツーマンの授業が多いため、英語を話す回数が圧倒的に多くなる。イギリスで身につけた英語力を基に、より高いレベルのクラスで英語を学習し更なる飛躍を目指す。セブは英語学習場として人気であるため日本人の比率が多くなるが、イギリスでの留学を通して英語を話すことに対してのハードルが低くなったと考えられるため、フィリピンでも英語に対する自信を付けつつ、日本語に甘えない環境や気持ちを自ら作り出す。



CELLAでは、1コマ45分授業を1日8コマ受けた。初日に4技能のレベルチェックテストを行い、テストの結果に応じて教科書のレベルや授業のレベルが決められた。スピーキングの授業だけでなく、全ての授業で担当教員と話しながら問題を解いていく必要があったため、日本人学生が多いCELLAの滞在中でも、英語を話す時間の方が圧倒的に多かった。

授業は8時から18時まであり、全ての授業が終わったら寝るまでの時間のほとんどを自習に費やした。毎日授業と自習時間を含めて9時間以上英語の勉強をしており、これを毎日続けることはなかなか大変ではあったが、英語力は確実に伸びたことを実感出来た。

